

令和6年第3回定例会（9/10～10/4）

概要

総額360億9,500万円余の令和6年度補正予算を可決

知事から補正予算案（当面措置を要する経費）と条例案などが提案され、議決しました。

また、議員や委員会から提出された会議案や決議案、意見案を原案のとおり可決しました。

主な審議日程

9月10日	本会議（開会）
9月13日～9月17日	本会議（代表質問）
9月19日～9月25日	本会議（一般質問）
9月25日～10月2日	予算特別委員会
10月3日	常任・特別委員会
10月4日	本会議（閉会）

本会議・予算特別委員会の主な議論

観光振興を目的とした新税について

道民の方々や宿泊事業者の方々への理解を得るためにどのように対応していくのか。宿泊税の使途をどのように決めていくのか。新税を活用した施策や具体的な体制をいつまでに整備するのか。

G X金融・資産運用特区について

地域の方々の意見をどのように活かすのか。特区の効果を道内全体にどのように広げていくのか。どのような方針で再エネ導入と企業誘致を一体的に進めていくのか。

次世代半導体産業について

アメリカ合衆国訪問で得た成果をどのように半導体拠点形成につなげていくのか。半導体人材の確保・定着のための環境整備をどのように考えているのか。

地域医療について

地域医療確保のため、更に多くの医師派遣を求める必要性をどのように考えているのか。人口集中が進む中で、どのように地域医療を担う人材を確保していくのか。

エネルギー政策について

再生可能エネルギーの普及に向けた課題をどのように認識し、対応していくのか。再生可能エネルギーの地産地消をどのように取り組むのか。

防災対策について

近年の地震や津波災害を踏まえ、防災体制の充実・強化をどのように進めていくのか。DMATの強化をはじめ、災害医療体制をどのように整備していくのか。

知事提出案件

【予算案】4件	「令和6年度北海道一般会計補正予算（第2号）」など	⇒ 原案可決
【条例案】7件	「北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案」など	⇒ 原案可決
【その他の案件】16件	「空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件」など	⇒ 原案可決

議員・委員会提出案件

【会議案】1件	「北海道水産業・漁村振興条例の一部を改正する条例案」	⇒ 原案可決
【決議案】1件	「ロシア機による領空侵犯に対する決議」	⇒ 原案可決
【意見案】4件	「オンラインを活用した接見交通の実現を求める意見書」など	⇒ 原案可決

定例会の詳細は、道議会Webサイトをご覧ください。

『オーバーツーリズム問題 ～持続可能な観光戦略とは～』

インターンシップ生作成

オーバーツーリズムとは…

過度な観光地化によって、地域住民の生活環境や観光客の観光体験に悪影響を与える状態のこと。オーバーツーリズムが起こる背景として、①観光業の市場規模の拡大、②SNSの台頭・普及、③為替の影響などが挙げられる。

北海道観光入込客数（実人数）の推移

年	国内客	海外客（国内）	訪日外国入客
2008	4,707	4,682	5,127
2009	4,682	4,682	5,127
2010	4,682	4,682	5,127
2011	4,682	4,682	5,127
2012	4,682	4,682	5,127
2013	4,682	4,682	5,127
2014	4,682	4,682	5,127
2015	4,682	4,682	5,127
2016	4,682	4,682	5,127
2017	4,682	4,682	5,127
2018	4,682	4,682	5,127
2019	4,682	4,682	5,127
2020	3,338	3,486	4,229
2021	3,338	3,486	4,229
2022	4,229	4,229	4,777
2023	4,777	4,777	4,777

資料：国土交通省北海道運輸局「北海道の観光基礎データ」

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し行動制限がなくなったことや、全国旅行支援の効果、円安の影響などにより、国内外から北海道を訪れる観光客は増加しています。これに伴って、一部地域ではオーバーツーリズムの懸念が生じています。

オーバーツーリズムによって生じる諸問題

- 交通機関の混雑
- 混雑による事故の発生
- 私有地の無断立ち入り
- 駐車場の不足・渋滞

など

農地への無断侵入に対して観光アドバイザーが啓発している様子（美瑛町）

対策とこれからの観光

交通手段や観光インフラの充実

運賃支払いのキャッシュレス・多言語化や、観光客が集中する交通機関から別の交通機関への分散・乗り換えを促進する。

入域管理や運賃設定の促進

観光施設・駐車場予約システムやパーク＆ライド駐車場などを整備する。

時間帯・時期・場所への誘導・分散化

観光スポットや周辺エリアの混雑状況の可視化・リアルタイム配信を導入する。

マナー違反行為の防止・抑制

多言語での看板・デジタルサイネージ等の設置、私有地や文化財等への防犯カメラ等の設置、統一ピクトグラムの策定などを行う。

※「オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた対策パッケージ」（観光庁）を加工して作成
(https://www.mlit.go.jp/kankochoseisaku/seido/kihonkeikaku/jizoku_kankochi/jizokukano_taisei/overtourism.html)